

かんばってるよ～



↑つなみにおそわれたおもと地くの様子

東北地方でおきた地しんで大きなひがいをうけた「いわ手県いわいずみ町」から、地しんの後のしごとで町のしょくいんがつかれ、けんこうにもえいきょうが出てきているため、昭島市の市やくしょのしょくいんに来てほしいというおねがいがありました。

このおねがいにたいして、昭島市では、3月27日から4月27日まで、5つのはんを組み、ぜんぶで20人のしょくいんをいわいずみ町におくり、ひなんしょにいる人たちのおせ話をしたり、町やくばのしごとを手つだったりすることをきめました。

さいしょにいわいずみ町に行った、だい1ぱんのみなさんからのほうこくです。

◎だい1ぱん

・行ったき間 3月27日(日)から4月3日(日)まで

- 山の方は、こわれたところなどがあるが、おちついている。町の人たちは、町みんなさんとホテルにひなんしている。
- 海の方にあるおもと地くでは、つなみのために、たくさんのひがいがあつたけれど、今は、かたづけがほぼおわっている。
- たくさんの食べものや生活にひつようなものがとどいている。
- 電車やバスは、ほぼふつうどおりうごいている。(電車はうごいていないところがある。)
- おもと地くではないところは、水どう水は出ている。
- やく1ヶ月後に、町の人がかりにすむ家を120～130作るよてい。
- 町やくばでは、ふだんどおりにしごとができるようになってきている。ひなん所では、しょくいん2人が夜もしごとをしているが、このしごとを手つだってきた。
- おもと地くでは、地しんでだれのものか分からなくなったものが、小学校の体いくかんにあつめられていた。
- ほかの市や町から来たしょくいんには会わなかった。
- きょ年の4月からいわいずみ町へ来ている森田さんとほかの市や町を見に行ったが、とくに、みやこ市のひがいは大きかった。自えいたいがきかいをつかわずに、いなくなった人をさがしていた。



↑はけんたいいんがはたらいているようす

【北川市長が、いわいずみ町へ行ったしょくいんにおくった言ば】

わたしも、地しんや火じ、台風などから市みんなをまもるためのまちづくりの大切さをあらためて考えている。みなさんには、この体けんを生かして、これからも活やくしてほしい。



【いわいずみ町に行ったしょくいんのみなさんのかんそう】

いしかわ ゆきお さん……いわいずみ町の今のようすを思うと言ばも出なかつたが、いわいずみ町のために、ほんの少しでもやくに立てたのであればうれしい。

たかみず あきとし さん……いわいずみ町では、とにかく「人」をひつようとしているとかんじた。今回だけでなく、もっともっと手つだいたい。



よしだ かずふみ さん……しばらく時間がたつと、テレビや新聞でひがいをうけた町のようすをつたえることが少なくなり、町のことを考えなくなってしまうかもしれない。しかし、ひがいをうけた町を元どおりにもどすためには10年い上かかるから、その間、ずっとがんばっている人たちのことをわすれてはいけないと思う。

おおさわ まさかず さん……いわいずみ町の人と話してみると、元気で明るい人が多かったことがうれしかった。ふつうの生活が、とても大切なものであるとかんじた。



だてかつみ いわいずみ町長さんから北川市長への手紙をしょうかいします。

今回の地しんにより、いわいずみ町にたいしまして、お金や食べものをもって、昭島市のしょくいんの人たちに来ていただいたことに、たくさんのおれいをもうし上げます。また、昭島市のおいしゃさんたちからいわいずみ町へ自どう車をおくっていただくよていであると聞き、おれいをもうし上げたいと思います。

すぐにでも、わたしが昭島市に行っておれいをもうし上げたいところですが、今は、ひなんしている町の人たちのためのいろいろなしごとがあつて、昭島市には行けません。このようすがおちつきましたら、あらためて昭島市に行っておれいをもうし上げたいと思いますが、とりあえずおれいの手紙を書きました。

平成23年4月1日

いわいずみ町長 だて かつみ

昭島市長 北川 じょういち さんへ